

////////////////////////////////////  
ICC Web基礎 後期提出課題  
////////////////////////////////////

=====  
以下の手順書に従い、各自のLocal上に新規にWordPressサイトを作成する。完成後、All-inOne WP Migrationプラグインを使用してサイトデータをエクスポートし、提出してください。

## 提出期限 2/18(金)

=====  
【評価ポイント】

- Localに、指定したドメイン(サイト名)でWordPressが正しくインストールされていること
- 指定したテーマをインストールし、有効化できていること
- Contact Form 7を使用してお問合せフォームを設置し、正常に機能すること
- 指定したコンテンツを固定ページに作成し、グローバルメニューからアクセスできること
- ブロックエディタで、画像や文章など指定したとおりにレイアウトできていること
- プラグインとテーマの自動アップデートが有効化できていること
- Updraft plusを使用して、スケジュールによる自動バックアップが設定できていること

=====

-----  
1) Local に新規サイト作成

- 「Local」を立ち上げて、左下の + をクリック

- サイト名に各自の学籍番号(例:21M03)を入力し continue をクリック
- Preferred を選択
- WordPress Username に kanri、WordPress Password に 1234 と入力
- ADD SITE ボタンをクリック
- 途中で表示されるWindowsのダイアログは「はい」を選択
- しばらく待ち、サイトリストに学籍番号のサイトが表示され緑のマークが付けばインストール完了、サイトが起動している

-----  
2) 管理画面にログイン

- リストから作成したサイトをクリックし、右ペインの ADMIN ボタンをクリックしてログイン画面をひらく
- Username～ に kanri、Password に 1234 と入力しログイン Log In ボタンをクリック
- Settings > General をクリック
- ページ中段の Site Languageドロップダウンから 日本語 を選ぶ
- Save Changes ボタンで保存する  
⇒ 管理画面が日本語化される

-----  
3) テーマのインストール

- 外観 > テーマ をクリック
- WordPressのインストール時に同梱されている Twenty Twenty を有効化する

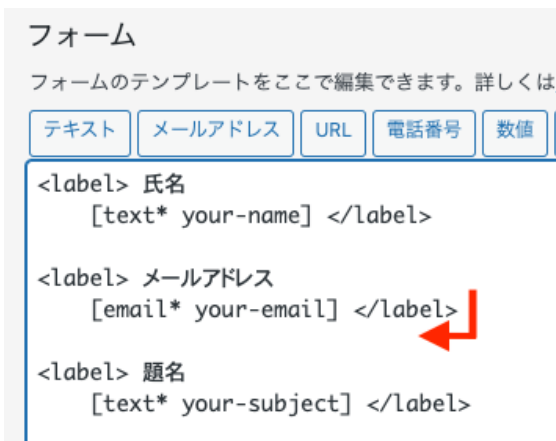
-----  
4) Contact Form 7の設定

- プラグイン> 新規追加 をクリック

- 右上の検索窓に **Contact Form 7** と入力すると選択肢のトップに表示される



- 今すぐインストール ボタンをクリック
- しばらく待ち、青い 有効化 ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- 左メニューの お問い合わせ > コンタクトフォーム をクリック
- プラグインインストール時に自動生成されている コンタクトフォーム1 をクリック
- フォーム タブにおいて、メールアドレス を囲っている label の閉じタグの後で改行する

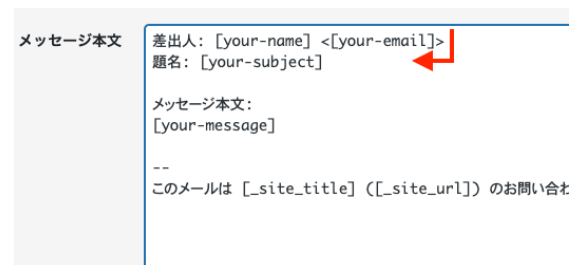


- 電話番号 ボタンをクリックするとダイアログがひらくので、何も変更せずに タグを挿入 ボタンをクリックして挿入
- 挿入されたタグが `<label>[tel tel-***]</label>` となるように、メールアドレスなどに倣って label タグでマークアップする。項目名も付記する。

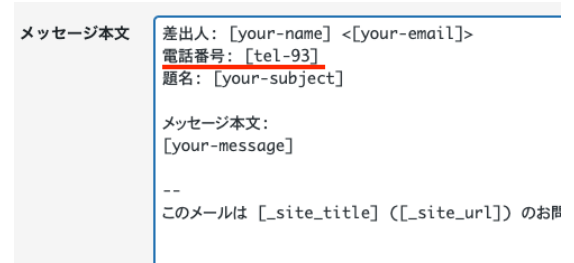


(※tel-93は例です)

- 保存 ボタンをクリック
- メール タブをクリック
- 作成した 電話番号 のメールタグ(例: [tel-93]) が画面内に太黒字で表示されているのでテキストを選択してコピーする
- メッセージ本文欄の `<[your-email]>` の後で改行する



- コピーしたメールタグをペーストし、その手前に 電話番号: とラベルも付記する



- 保存 ボタンをクリック
- 固定ページ > 新規追加 をクリックして投稿画面をひらく
- タイトル欄に お問い合わせ と入力

- タイトル欄右下の黒い + アイコンをクリックし、現れた検索窓に **Contact Form 7** と入力する
- Contact Form 7 のブロックが表示されるので選択する



- 挿入されたContact Form 7のブロックにおいて、前段で編集した コンタクトフォーム1 が選択されていることを確認
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお問合せページを公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編集画面を抜ける

## 5) 会社概要ページの作成

- Google Mapを設置するために Map Block for Google Maps プラグインをインストールする。プラグイン > 新規追加 をクリックし、画面右上の検索窓に **Map Block for Google Maps** と入力するとトップに表示される



- 今すぐインストール > 有効化 の順にクリックしてプラグインを有効化する
- 固定ページ > 新規追加 をクリックして投稿画面を開く
- タイトル欄に 会社概要と入力

- タイトル欄右下の黒い「+」アイコンをクリックし、現れた検索窓に **Map** と入力する
- Map Block for Google Maps のブロックが表示されるので選択する
- 右ペインの Address 欄を 長野県飯田市松尾明**7591** と打ち直す
- その下の **Zoom** 欄を**15** に設定
- 挿入したマップの右下の「+」ボタンをクリックし 段落 ブロックを挿入
- ブロックに  
〒**395-0823** 長野県飯田市松尾明**7591** と挿入(記述)
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお問合せページを公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編集画面を抜ける

## 6) グローバルメニューの作成

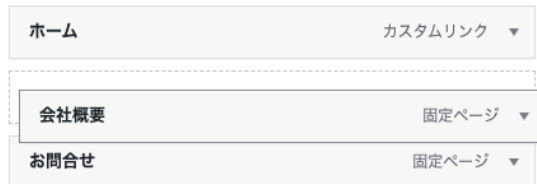
- 外観 > メニュー をクリック
- メニュー名 に Main と入力



デスクトップ水平メニュー と モバイルメニュー にチェックを付けて、右下の **メニューを作成** ボタンをクリック

- 左の メニュー項目を追加 セクションから、固定ページの **すべて表示** タブをクリック
- 先に作成した 会社概要 と お問合せ 、さらに **ホーム** にチェックを入れて **メニュー** に追加 ボタンをクリック

- 右側のメニュー構造セクションに挿入された各ページが垂直に、ホーム → 会社概要 → お問い合わせの順に並ぶように、会社概要をクリック&ドラッグして2番目に移動する(すでに上記の並びになっていれば不要)



- 右下のメニューを保存をクリック

## 7)フッターウィジェットを修正

- 外観 > ウィジェット をクリック
- フッター1 の2つのウィジェットのタイトルが英語になっているので以下のように打ち直す:  
**Recent Posts** を 最近の記事 に  
**Recent Comments** を コメント に
- フッター2 をクリックしてアコーディオンメニューを開く  
同様に以下のように打ち直す:  
**Archives** を 過去の記事 に  
**Categories** を カテゴリー に
- 右上の青い 更新 ボタンをクリック

## 8)カテゴリーの修正

- 投稿 > カテゴリー をクリック
- デフォルトカテゴリーの **Uncategorized** をクリック
- 名前をお知らせに、スラッグを **news** に打ち直す
- 青い 更新 ボタンをクリック

## 9)お知らせ記事の作成

- 投稿 > 投稿一覧 をクリック
- **Hello world!** というダミー記事にマウスポインタを重ねるとゴミ箱へ移動という赤いリンク文字が表示されるのでクリックして削除
- 投稿 > 新規追加 をクリック
- 投稿画面のタイトル欄に

### サイトリニューアルOPENのお知らせ

#### と入力

- タイトル欄右下の「+」ボタンをクリックし段落ブロックを挿入
- ブロックに以下のように記述(ペースト):  
— ここから下 —  
日頃はhonyaをご愛顧いただき誠にありがとうございます。

本日、サイトをリニューアルいたしました。

今後とも、内容の充実を図るとともに、わかりやすく・最新の情報を発信してまいりますので、何卒よろしくご愛顧申し上げます。

— ここから上 —

- 右ペインの 投稿 タブをクリックして切り替え、カテゴリー をクリックしてアコーディオンメニューを開く
- お知らせ カテゴリーにチェックを入れる
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお知らせ記事を公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編集画面を抜ける

## 10)自動バックアップ設定

- プラグイン > 新規追加 をクリック
- 右上の検索窓に updraft plus と入力すると次のようなプラグインが上位に表示される:



- **今すぐインストール** をクリック
- しばらく待ち、青い **有効化** ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- 左メニューの **設定 > UpdraftPlusバックアップ** をクリック
- **設定** タブをクリック
- **ファイルバックアップのスケジュール** を、ドロップダウンメニューから **毎週** に切り替え、予約からのバックアップを保存しておく数を **4** にする (4週間分のバックアップ)
- **データベースバックアップのスケジュール** を、ドロップダウンメニューから **毎日** に切り替え、予約からのバックアップを保存しておく数を **7** にする (7日間分のバックアップ)
- ページ下部にスクロールし、**変更を保存** ボタンをクリック
- **バックアップ / 復元** タブをクリックし、次回に予定されたバックアップ セクションの **ファイル、データベース** それぞれに緑色の文字で日付が表示されていれば自動バックアップの設定が完了している。まもなく最初の自動バックアップが実行され、既存のバックアップ 欄にバックアップの内容が表示される。

## 11) プラグイン & テーマの自動アップデート設定

- **プラグイン > インストール済みプラグイン** をクリック
- 各プラグインの左端にあるチェックをすべて選択し、一括操作 **ドロップダウン** メ

ニューから **自動更新を有効化** を選択



- **ドロップダウン** の右隣の **適用** ボタンをクリック
- 各プラグインの右端の **自動更新** 欄のリンクテキストがそれぞれ **自動更新を無効化** となっていることを確認 (リンクテキストが「無効化」となっているということは、現在は有効化されている)
- **外観 > テーマ** をクリック
- **Twenty Twenty** にマウスポインタを重ねると **テーマの詳細** という文字が表示されるのでクリック
- 右ペインにある **自動更新を有効化** リンクをクリック。リンクテキストが「自動更新を無効化」に切り替われば自動アップデートの有効化が完了。
- 右上の「×」をクリックしてダイアログを閉じる
- 同様に **Twenty Twenty-One** と **Twenty Twenty-Two** (その他インストール済みのすべてのテーマ) の自動更新も有効化する

## 12) 各所、表示と動作確認

- 管理画面の左上、サイト名(学籍番号)をクリックして、サイトを表示する
- 以下の各所を確認:
  - トップページに「サイトリニューアル OPENのお知らせ」記事が表示されていること
  - 各フッターウィジェットのタイトルが日本語化されていること
  - サイト右上のグローバルメニューが次の順にならんでいること:
    - ホーム
    - 会社概要
    - お問い合わせ
  - グローバルメニューの 会社概要 をクリックし、Googleマップがただしく表示され、飯田コアカレッジの場所を示していること
  - マップの下に飯田コアカレッジの住所が記載されていること
  - グローバルメニューの お問い合わせ をクリックし、メールフォームが正常に表示されていること、追加した 電話番号 欄が表示されていること
  - グローバルメニューの ホーム をクリックし、トップページ(「サイトリニューアルOPENのお知らせ」記事)へアクセスできること
  - サイト左上のサイト名が、自分の学籍番号になっていること

---

### 13)メールフォームの動作テスト

---

- グローバルメニューの お問い合わせ をクリック
- メールフォームに、ダミーで良いので、すべての項目に入力する(本文に「テストです」など)
- すべて入力したら 送信 ボタンをクリック
- 送信直後にメールフォーム下部に「ありがとうございます。メッセージは送信されました。」とメッセージが表示されれば無事メールが送信されたことを示す。

- **Local** の画面に切り替え、現在作業しているサイトの 右ペイン > **TOOLS**(または **UTILITY**)タブをクリック
- **OPEN MAILHOG** リンクをクリック
- ブラウザの別タブ/ウィンドウでテスト用のメール **MailHog** が開き、今送ったメールが最新メールとして届いているのが確認できるのでクリックして本文を開く
- 本文欄に以下の内容が反映されていることを確認する:
  - 差出人
  - メールアドレス
  - 電話番号
  - 題名
  - メッセージ本文



From 21M03 <wordpress@21m03.local>  
 Subject 21M03 "テスト"  
 To dev-email@flywheel.local

Plain text Source

差出人: みやざわ <dxd5001@gmail.com>  
 電話番号: 0265251407  
 題名: テスト

メッセージ本文:  
 テストです。

--  
 このメールは 21M03 (<http://21m03.local>)

- 以上で、メールの動作確認ができた

---

### 14)サイトデータのエクスポート

---

- サイト上部の **admin**バー(黒い背景の帯状のメニュー)の左端のサイト名(学籍番号)にマウスポインタを合わせ、ドロップダウンメニューから **ダッシュボード** をクリックして管理画面に戻る
- プラグイン > **新規追加** をクリック
- 右上の検索窓に **all in one wp migration** と入力するとトップ/上位に次

のようなプラグインが表示される:



### All-in-One WP Migration

1クリックでサイトを移動、転送、コピーします。すばやくて簡単、高い信頼性。

作者: ServMask

以上

- 今すぐインストール をクリック
- しばらく待ち、青い 有効化 ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- 左メニューの **All-in-One WP Migration** > エクスポート をクリック
- 緑色の エクスポート先 のドロップダウンメニューをクリックし、ファイル をクリックする(進捗状況を表すダイアログが表示され、この間にサイトデータの収集と圧縮が行われる)
- しばらく待ち、次のような画面に切り替わったら緑色の **xxxx.LOCAL** をダウンロード ボタンをクリックすると、エクスポートしたファイルのダウンロードが始まる
- Windowsのダウンロードフォルダ(ブラウザのダウンロード先の設定による)に次のようなフォーマットのファイルがしばらくするとダウンロードされる:  
例)  
**21m03.local-20220204-001210-e4lj8z.wpress**
- このファイルを提出してください(正しくエクスポートできていれば、私の環境でインポートしてまったく同じサイトが再現できますので、それを使ってチェックします)
- ダウンロードが完了したら赤い 閉じる ボタンでダイアログを閉じる
- 忘れずに All-in-One WP Migration プラグインの自動アップデートを有効化しておくこと

提出期限 **2/18(金)**